## 特許ニュースは

●知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術 予測等の専門情報紙です。

(税・配送料込み)

定期購読料 1カ年75,090円 6カ月39,165円 本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び 入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

# 令和6年 R

No. 16135 1部377円 (税込み)

発 行 所

#### 一般社団法人 発明 推 谁 会

東京都港区虎ノ門2-9-1

虎ノ門ヒルズ 江戸見坂テラス

郵便番号 105-0001 [電話]03-3502-5493

発明推進協会ウェブサイト https://www.jiii.or.jp

### 目 次

☆SNS時代における著作権関連訴訟の 傾向とあるべき姿についての一考………(1) ☆「春宵一刻] 日本人の中のポリネシア…… (11) ☆ライブ配信講座(研究開発&特許出願活動に 役立つ特許情報調査と検索テクニック入門 … (12)

# SNS時代における著作権関連訴訟の 傾向とあるべき姿についての-

弁理十 前渋 正治

## § 1 はじめに

とある勉強会において2022年の著作権関連判決を 総ざらいして解説するという機会があった。そのた め最高裁判所ウェブサイトにて"著作権"のキーワー ドでヒットする2022年内の判決すべてに目を通した 上で、その中から意義があると感じた26件をピック アップして考察を行ったのだが、その過程において 感じたことがある。訴訟、特に民事訴訟というのは 個人間のトラブルを解決するものであり、多分に感 情的な部分が多くなりがちであるし、こと著作権訴 訟において結局は当事者の感情のもつれでしかない と感じる過去の判例は枚挙にいとまがない。しかし ながら、その割合があまりにも多いのではないか、 ということであった。

個人間の感情的なもつれを解決するにも適切な法 域というものがあり、著作権訴訟の場で取り扱うに

